

もっと「おおたの同友」を知ろう！参加しよう！

OTA・NO・DOYU

おおたの同友

中小企業家同友会 大田支部 ◎ 広報誌リニューアル4号

広報委員会

おおたの同友 リニューアル4号（2015年7月発行）
 広報委員長：針谷周作
 広報委員：佐々木正勝 河津文三 鳥潟祐樹
 富澤一信 山田蒼路
 発行：東京中小企業家同友会大田支部
 編集制作：コトノハ株式会社

入会のご希望は、東京中小企業家同友会大田支部
 → ☎03-3261-7201

年間スケジュール (現時点の予定)

Schedule

月日	カテゴリー	場所	タイトル	報告者/講師	担当ブロック
7月13日	ブロック会	しゃぶしゃぶ 温野菜池上店	大田支部7月ブロック会 (リバーサイドブロック担当)		
7月17日	例会	PIO	「七転び八起きまた転んでも起き上がり」～加速器から原子力・真空技術。医工連携に乗れなくとも親から子への事業と技術の継承が溶接技術を変える～	衛藤	21研
7月21日	ブロック会	創作ダイニング 凜	大田支部ブロック会 (大森ブロック担当)		
7月23日	経営指針を深め広める会	入新井集会所 (Luz大森)	自社の経営課題と向き合う！明日への一歩 拡大版	参加者全員によるグループ討論	
8月3日	例会	品川 船清	暑気払い！飲んで！食べて！語り合おう！『納涼 屋形船』		ブロック合同
8月5日	幹事会	会場未定	大田支部 幹事会		
8月27日	経営指針を深め広める会	入新井集会所 (Luz大森)	自社の経営課題と向き合う！明日への一歩 拡大版	参加者全員によるグループ討論	
9月2日	幹事会	会場未定			
9月24日	経営指針を深め広める会	入新井集会所 (Luz大森)	自社の経営課題と向き合う！明日への一歩 拡大版	参加者全員によるグループ討論	
10月7日	幹事会	会場未定			
10月21日	例会	会場未定	第22回経営研究集会		
11月4日	幹事会	会場未定			
11月未定	例会	会場未定			社員の心に火をつける

大田区長訪問

The visit to the Mayor

5月14日。同友会大田支部では、三期目を迎えたばかりの松原大田区長を訪問しました。訪問にあたり、大田区10年基本計画（後期）、医工連携の取り組み、大田区産業振興協会、オリンピックに向けた文化と観光政策などについて、区長にお話を伺いました。

支部長の佃氏が「同友会会員には、大田区優工場表彰を受賞している企業もあり、大田支部としては、今後もこの賞に挑戦する会員企業を応援していきたい。今後の展望は」と質問すると、松原区長は、「平成7年にスタートした優工場は、町工場と住宅が混在する大田区の間で、両者が共存する「住工調和」型工場のモデルを選定・アピールし、一般区民や区外関係者の大

田区工業に対する理解を深めていただくことを目的にしている。社員のモチベーションアップや、調達先の選定、金融機関の審査において、この制度が有効に働くかと思う」と回答した。

この他、羽田空港も有する国際都市として、国際競争力を高め、地方創生にもつなげていくことや、オリンピックに向けて大田区の文化と観光を盛り上げるなど、話題に上りました。

近年の同友会大田支部は、他のさまざまな団体や地域に対し、政策提言などを行うなど能動的な活動によって存在感が際立ってきた感があります。今後も、大田支部会員の意見を積み重ね、本年度のスローガンを念頭に、支部として活動を行ってまいります。

大田支部会員状況と報告



- ◎6月31日現在、大田支部の会員数は172名（前月+4名）。目標会員数は200名。
- ◎大田支部のホームページが新しくなりました。アドレスは昔と変わらぬまま。
- ◎7月17日には「七転び八起きまた転んでも起き上がり」～加速器から原子力・真空技術。医工連携に乗れなくとも親から子への事業と技術の継承が溶接技術を変える～が開催されます。
- ◎8月3日は「暑気払い！飲んで！食べて！語り合おう！『納涼 屋形船』」が開催されます。詳しくは裏面をご参照ください。
- ◎7月23日、8月27日は、「経営指針を深め広める会」が開催されています。タイトルは「自社の経営課題と向き合う！明日への一歩 拡大版」。自社の業績が伸びない、売上げが上がらない、などのお悩みがある経営者にはおすすめの会となっております。

経営に効くTIPS!

マイナンバー制について

三崎経営労務事務所
 特定社会保険労務士 三崎亜紀子さん



「個人番号カード」は顔写真が載っているため様々な本人確認の場面で利用できるカードです。会社での各種手続きの際に提示していただく必要があります。手続きは各個人で行います。

②マイナンバーの利用目的や取扱い方針を就業規則などに明示してください！

マイナンバーの利用範囲は「社会保障・税・災害対策」と厳しく制限されており、目的外利用した場合は罰則の対象となります。社員からマイナンバーを取得する際には利用目的を本人に通知・公表しなければなりませんので、就業規則等に明示することを勧めます。

③マイナンバーの保管・運用などの安全管理対策を！

- 社内でマイナンバーを取扱う担当者を決めておきます。（総務部〇〇さん、など）
- マイナンバーの記載をした書類を提出したら、業務日誌などに記録しておきましょう。
- マイナンバーが記載されている書類は管理責任者を決め、鍵のかかる場所に保管します。
- マイナンバーが保存されているパソコンにはパスワードを設定するなどアクセス制限をかけ、常に最新のウイルス対策ソフトを導入して下さい。

①社員への注意喚起をお願いします！

今回は2016年1月からスタートする「マイナンバー制度」について、企業が備えなければならぬ3つのポイントについて、お伝えいたします。

④10月の通知カードの取得から実際の運用開始までは約3カ月程度しかありません。その間に少なくとも上記の3点については必ず準備しましょう。マイナンバー制度についてわからないことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

ホームページが新しくなりました。☞ <http://www.ota-doyu.com> にアクセス

株ニッコー化学研究所・代表取締役社長 佃浩之氏

大田区の南・城南島には、大田支部会員の企業が集まっている。大田支部の支部長である佃さんの会社、(株)ニッコー化学研究所もそのひとつ。支部長・佃さんの会社は、「光化学・界面化学」を中心に研究開発を行っている会社です。普段はなかなか聞けない、佃さんの会社の事業内容も含め、城南島の本社にてお話を伺いました。

ニッコー化学研究所の業務内容

弊社では「光化学」と「界面化学」の2分野をドメインとして打ち出しており、研究開発・製造・販売を行っております。「光化学」では光に反応する性質をもった化学物質を使って製品を開発しております。一般的なものでは紫外線吸収剤等があります。窓に貼って紫外線カットするフィルムに塗工する紫外線吸収性のある塗料や、衣服繊維に含浸させることで日焼け止めになる水性のUVカット塗料などを生産しております。また、紫外線を照射することで硬化する塗料なども得意になっており、従来の熱硬化型塗料にくらべて有機溶剤の使用量を減らし環境負荷を下げることに貢献しております。

研究開発をしないか

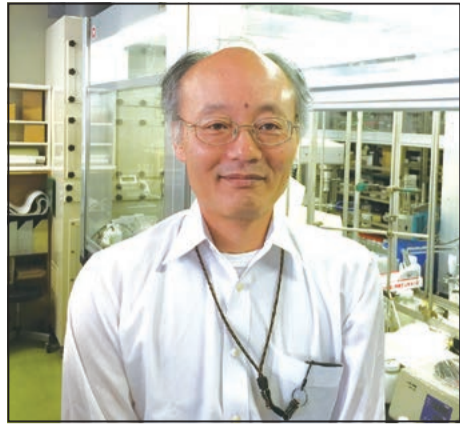
弊社規模の会社は研究開発を常に行っていないか、生きているか、という質問はよく聞かれます。既存ユーザーさんからのコスト削減、性能向上の要望は止まりませんし、新規のユーザーさんを確保するにも他社に先駆けた製品開発は不可欠です。

活気ある大田支部にするために

私が東京同友会大田支部に入会してから20年が経ちました。当時はまだバブル景気の残りがあり、まだ弊社は規模拡大を考えていましたが、90年後半のモントリオール議定書によるフロン廃止の影響が大きく、現在は当時の60%くらいの規模です。

生き残れない

弊社規模の会社は研究開発を常に行っていないか、生きているか、という質問はよく聞かれます。既存ユーザーさんからのコスト削減、性能向上の要望は止まりませんし、新規のユーザーさんを確保するにも他社に先駆けた製品開発は不可欠です。



ニッコー化学研究所社内の研究室にて撮影。

知的所有権についても積極的に取得していく方針です。一口に特許といっても出願、取得の方針にいろいろあります。最近の特許で稼げるようないい開発がなかなかできていないのも悩みです。以前は自社で備える事ができる分析装置は備えていたのですが、現在はキーになる分析装置を除いては大田区産業プラザP.i.O地下

の城南地域中小企業振興センターで借りています。P.i.O地下の城南地域中小企業振興センターの設備は非常に充実しています。活気ある大田支部にするために、私が東京同友会大田支部に入会してから20年が経ちました。当時はまだバブル景気の残りがあり、まだ弊社は規模拡大を考えていましたが、90年後半のモントリオール議定書によるフロン廃止の影響が大きく、現在は当時の60%くらいの規模です。その頃の大田支部は団塊世代の創業者、経営者が多く、皆若かったこともあり非常に活気がありました。特に当時、人材開発委員会を作り毎年4月に一泊二日の合宿で新人教育にあたり、その後9月に新人フォローアップ研修を行うという超過密スケジュールで活動していました。(中略) 振り返るといい勉強、そして経験になったと思います。なによりベテラン先輩経営者達と本心に仲良くなれました。私も支部長になって3年半が経ちました。今年の支部スローガンは「自ら道を切り拓き、熱き渦を創る！」ですが、私たち中小企業家はこれをやっているか、いと生き残れない。それぞれどんな渦を創るのか。社員教育でもいいし、自分たちで集まって事業を開発してもいいですね。やはり会に参加いただいで昔のように喧嘩調々やるのもいいですね。また、今の30代40代に頑張ってもらいたいです。

会社突然訪問



井上製作所 井上健太郎さん

井上製作所 井上健太郎さん

井上製作所 井上健太郎さん

井上製作所 代表取締役社長 井上健太郎さん

前出の支部長のニッコー化学研究所をはじめ、大田区の南端・城南島には大田支部会員の企業が集まっている。支部長のニッコー化学研究所さんで取材を終えた我々広報委員は、現在、大田支部の副支部長として存在感を放つ若き同友会のホープ・井上製作所の井上健太郎さんに会社訪問取材を行いました。

広報(以下、広)：いつもお世話になっております。同友会に参加されるようになったのはいつ頃ですか？
井上健太郎さん(以下、井)：ここ2、3年前からです。大田支部の副支部長になったのが去年の4月です。父も同友会に入っていたのですが、父の友人の森川さんという方(現在は退会)から、「同友会は面白くてタメになるから参加してみなさい」とお話を伺い入会しました。ただ、母の遺言で、政治・公職には深入り無用、大役はお請けするなと言われておりました(笑)。
広：井上製作所さんでは、どういう仕事をやられているのですか？
井：例えば、ICチップを回路に配置する工場などで使用するための、リードフレームの収納ケースも作っています。なかなか表には出てこない製品を作ることが多いですね。その他、最近の仕事では近鉄日本鉄道の「しまかせ」という列車のテーブルを製作しました。アルミ一枚を加工したものです。
広：高級感がありますね。
井：うちは加工会社なんです。「こ

注目の例会

8月3日開催!

暑気払い! 飲んで! 食べて! 語り合おう!

『納涼屋形船』



夏と言えば、ビール。そして屋形船。ブロック会のメンバーが合同して行うこの企画。大田支部のいつもの面々が勢揃いするこのイベント。お酒を飲みながら、仲間とともに語らえば、楽しくない筈がない。会に入っただけの方は、交流を深めるチャンスです。詳細については、事務局および大田支部メーリングリストに情報が流れると思いますので、ぜひともご参加ください。お待ちしております。(問・03-3261-7201 米田)

編集後記

新年度となり、はじめて発行する「おたの同友リニューアル4号」。今回もさまざまな大田支部の方々にご協力いただきました。広報委員会では本会報誌発行の前に、広報委員会を開いています。今回ご参加いただいたのは、三笠総合保険の佐々木さん、ホワイトホームズの河津さん、テック大洋工業の鳥湯さん、トミ企画の富澤さん、旭産業の山田さんの6名。大森の駅ビルにあるホテル上階のレストランにて、ランチをとりながらミーティングを行いました。ご参加いただきました皆様にお礼を申し上げます。会員数では23区内で一番多い大田支部を盛り上げるべく、また、新規会員獲得につながる誌面づくりをころかかけております。同友会大田支部は、いい経営者になりたい、いい会社になりたい、社員に生き生きと働いてもらいたい、と日々奮闘する社長が揃っています。ぜひとも同じ志を持つ新たな社長を大田支部にお誘いください(針)。